

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	小規模事業経営近代化促進指導補助金
----------------	-------------------

○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小規模事業者の経営基盤の充実を図るため、商工会議所や商工会が行う小規模事業者の経営または技術の近代化促進のための事業を対象とし、小規模事業者の振興と安定に寄与するため。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本市経済の振興発展のため、小規模事業者の経営基盤強化は必要不可欠であり、専任の経営指導員を有する商工会等への補助により強化が図られるため。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該事業は、道補助金と市補助金を受け運営しているが、経費の節減など内部努力も続けている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	専門知識を要する小規模事業者への経営指導は、市が直接行うことが困難であり、商工会等への補助により、適切な経営指導が可能となるため。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	前年度繰越金は生じているものの、全体の2%に満たず、今後も収入の減少が見込まれ、さらなる経費節減も厳しいため、現状どおりの対応とする。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	小規模事業経営近代化促進指導補助金
----------------	-------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

経営指導を行った小規模事業者が, 実際に経営が改善したかどうかの判断は難しく, 件数の把握は困難であるので, 指導件数や講習会の開催回数等をもって, 経営改善効果の判断材料とする。

(達成状況)

平成27年度実績			
・相談・指導業務	巡回指導		927回
	窓口指導		594回
・記帳指導事業	記帳継続指導	110社	486回
・講習会等開催	集団指導	3回	30名
	個別指導	1回	6名

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	経営指導員のきめ細かな指導や, 講習会の開催等により, 小規模事業者の意識改革や経営基盤の強化が図られ, 倒産件数も減少していることから, 十分効果が認められると判断する。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 要綱で, 合併により成立した商工会に対する特例措置が規定されており, 基準額を超える補助金額を支出しているため, 段階的に減額してきた結果, 合併当初22,050千円であった補助金が, 平成28年度では12,000千円と10,000千円の減額となっており, 事務事業等の見直しも限界に来ている。今後も継続して2年に1度, 2,000千円づつ減額するのは厳しい状況であるため, 団体の運営状況を勘案した上で, 補助金額の算定方法について検討する。 (見直しの時期)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成 30 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成 30 年度